

令和4年度

当初予算の概要

(抜粋)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs未来都市 知立市は
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

知立市

《予算の規模》

総額	383億500万円	(前年度比 4億6,290万円 1.2%増)
▶ 一般会計	231億2,000万円	(前年度比 Δ2,000万円 0.1%減)
▶ 特別会計	102億1,330万円	(前年度比 4億4,160万円 4.5%増)
▶ 企業会計	49億7,170万円	(前年度比 4,130万円 0.8%増)

☆一般会計

《歳入の概要》

● 市 税	121億9,823万6千円	(前年度比 14億5,119万1千円 13.5%増)
・ 個人市民税	50億9,559万3千円	(前年度比 6億6,078万2千円 14.9%増)
・ 法人市民税	5億8,842万円	(前年度比 2億5,016万9千円 74.0%増)
・ 固定資産税	48億9,681万8千円	(前年度比 4億5,872万円 10.3%増)

● ふるさと応援寄附金	6,000万円	(前年度比 0円 増減なし)
-------------	---------	----------------

● 財政調整基金繰入金	7億8,270万3千円	(前年度比 Δ1億9,653万4千円 20.1%減)
	(当初予算編成後残高見込)	13億5,984万4千円)

● 市 債	9億4,000万円	(前年度比 Δ10億3,320万円 52.4%減)
	(令和3年度末残高見込)	168億1,735万7千円)

主な市債

・ 県営かんがい排水事業	1,420万円	・ 知立駅周辺土地区画整理事業	1億560万円
・ 知立連続立体交差関連道路改良事業	1,800万円	・ 知立環状線整備事業	670万円
・ 幹線市道路面緊急対策事業	6,000万円	・ 河川維持補修事業	700万円
・ 長田排水路改修事業	2,500万円	・ 臨時財政対策債	7,000万円
・ 知立連続立体交差事業	6億3,000万円		

《歳出の概要》

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 特殊詐欺対策電話機器等購入費補助事業

【新規】 840 千円（安心安全課）

自宅の電話を迷惑電話防止機能付きの電話機に買い換えることや迷惑電話防止装置を設置することは、特殊詐欺の被害を防ぐための対策として効果が高いと言われています。

高齢者に対し特殊詐欺対策電話機器等の購入費用を一部補助することにより、特殊詐欺対策電話機器等の普及を促進し、市内の犯罪被害発生未然防止に役立てます。

2 防犯灯管理事業

26,369 千円（安心安全課）

住宅地など市民が日常に使用する道路の防犯や安全を守り、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。

3 成年後見支援センター事業委託業務

【拡充】 8,739 千円（福祉課）

成年後見制度の利用等に係る相談や申請手続きの説明等の業務を行う窓口として、成年後見支援センターを設立することで、障がい者や高齢者本人またはその家族等が気軽に制度の利用が出来るよう支援します。また法人後見の制度を業務として追加することで、親亡き後の障がい者等の生活の安心を確保することを目的としています。

4 家計改善支援事業

【新規】 7,920 千円（福祉課）

家計の視点から相談支援を実施することにより、経済的な問題の背景にある根源的な課題を相談者とともに理解し、相談者自身の「家計を管理する力」を高め、早期に生活が再生されることを目的としています。

5 住宅用地球温暖化対策設備補助事業

【拡充】 14,870 千円（環境課）

太陽光発電システムの設置とともに、発電した電気の自家消費及び電力の効率的な利用を促すため、住宅の省エネ・創エネ・蓄エネ設備の設置に対して補助することにより、温室効果ガスの排出を抑制し地球温暖化防止の促進を図り、市民の暮らしの低炭素化を推進することを目的とします。

6 地域新電力会社出資事業

【臨時】 2,400 千円（環境課）

刈谷市・知立市・民間事業者と連携して地域新電力会社を立ち上げ、クリーンセンターで発電される電気を活用して、「エネルギーの地産地消」「エネルギーコストの地域内循環」「事業利益の地域への還元」を目的とし、脱炭素化を目指します。

7 プロギング事業

【臨時】 300 千円（環境課）

知立市は、令和3年5月にSDGs 未来都市に選定されており、誰一人取り残さない持続可能な地域の実現のため、SDGs ゴールに向け積極的な取り組みをしています。SDGs スポーツであるプロギング事業を実施することにより、単なるごみ拾いではなくフィットネスと観光を押し出すことで清掃活動に興味がない人へのアプローチをしていきます。

8 バイオマスプラスチック製ごみ袋導入事業

【新規】 27,005 千円（環境課）

温室効果ガスの削減、石油資源の節約、市民の環境意識の向上を目指し、3R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進していくため、家庭ごみの指定袋にバイオマスポリエチレン（植物由来の原料）を配合した環境にやさしい指定袋を導入します。

人々が集う交流のまちづくり

1 （仮称）知立蔵福寺地区土地区画整理事業

12,589 千円（まちづくり課）

良質な住宅地を供給し、人口増加を図るため、市街化区域編入を伴う土地区画整理事業を推進します。

2 幹線市道路面緊急補修事業 99,960 千円（土木課）

1・2級幹線市道の舗装修繕を実施することで、自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図ります。

3 八橋東西線整備事業 30,877 千円（都市計画課）

4 花園里線整備事業 6,000 千円（都市計画課）

5 知立環状線整備事業 21,265 千円（都市計画課）

6 知立南北線整備事業 2,640 千円（都市計画課）

7 知立駅周辺土地区画整理事業

402,464 千円（都市開発課）

8 知立連続立体交差事業 787,500 千円（都市開発課）

9 西新地地区土地利用計画調査事業

7,699 千円（まちづくり課）

10 知立駅南土地区画整理事業 10,000 千円（都市開発課）

11 知立連続立体交差関連事業 101,800 千円（都市開発課）

※知立駅周辺整備事業（5番から11番まで）の事業費

令和4年度 1,333,368千円
（前年度比 △446,199千円）

12 知立駅周辺賑わいづくり事業「池鯉鮒宿の市」

【新規】 2,592千円（経済課）

駅周辺の整備状況に合わせて将来にわたり駅前の賑わいにつながるきっかけづくりを行います。また、駅周辺で整備される公園、歩行者空間、高架下などを含めた賑わいづくりを目指し、関係機関と調整を進めていきます。この賑わいづくりの事業を官民連携で進めることにより継続的に賑わいの創出が期待できます。

13 企業立地推進事業


9,045千円（企業立地推進課）

新たな産業ゾーンを形成し、創生することにより、企業の新規立地や市内企業の事業拡大を推進し、雇用の拡大と産業振興を図ります。

14 農業用機械等導入支援事業

【新規】 1,100千円（経済課）

知立市の農地の保全を担う営農者の安定的な農業経営は不可欠です。市街化編入や企業立地の推進など農地の減少等により、今後の収益の減少が見込まれる中、高額な農業用機械の更新などの経費の一部を支援し、担い手の確保を図ります。

 次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

1 児童クラブ無線LAN環境構築事業

【臨時】 4,853千円（子ども課）

児童クラブにおけるタブレット端末を利用した学習環境を確保するため、個々の端末からのインターネット接続を果たすことができるよう、無線LAN環境を構築します。

2 少人数学級事業

28,890千円（学校教育課）

35人学級を小学校全学年で実施します。

3 子どもサポート教員配置事業

【拡充】 34,663千円（学校教育課）

特別な支援を必要とする児童生徒への教育的支援を行うため、各小中学校に「子どもサポート教員」を配置することにより、一人一人の教育的ニーズに応じた個性の伸長をめざし、よりきめ細かな対応を図るとともに不登校やいじめのない学校環境づくりが期待できます。

4 早期適応指導員配置事業

【拡充】 14,479千円（学校教育課）

知立東小学校内に早期適応教室「杜若（かきつばた）教室」を設置し、年々増加傾向の日本語教育が必要な外国人児童生徒のために、日常生活や学校生活に即した日本語の習得及び生活習慣・文化に慣れさせ、日本に適應できる能力・態度を育むことをめざします。

5 スクールソーシャルワーカー活用事業

【新規】 801 千円（学校教育課）

問題を抱える子どもたち本人はもちろん、家族や友人、学校、地域等、その子どもを取り巻く環境全体に働きかけ、関係する行政機関等とも連携を図りながら、問題の根本となっている原因の解決を探っていきます。

6 水泳授業民間施設活用モデル事業

【臨時】 6,114 千円（教育庶務課）

猿渡小学校をモデル校として、学校プールを使用する際と民間プールを活用する際の費用比較、水泳の専門家の指導による教師の指導力の向上、学校敷地外にプールがある場合の移動時の安全確保などを研究し、今後の水泳教育の参考につなげていきます。

互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり

1 SDGs イベント等開催事業

【臨時】 10,000 千円（企画政策課）

SDGs 未来都市として、市内及び市外にSDGs を普及啓発し、地域の担い手を増やさず、持続可能な社会の形成を推進します。

芸術や文化を大切にすまちづくり

1 中央公民館トイレ改修事業

【臨時】 34,100 千円（生涯学習スポーツ課）

トイレ改修事業では、老朽化対応に加え、非接触の自動水栓、自動洗浄装置の導入することにより、接触機会が減り、さまざまな感染症防止につながります。また、中央公民館利用者の利便性の向上にもつながるものです。

2 市民体育館営繕事業（市民体育館無線LAN環境構築事業）

【臨時】 2,212 千円（生涯学習スポーツ課）

本事業にて無線LAN環境を整備することにより、実施会場と自宅のどちらでも参加できるハイブリット方式での事業実施や、指導者や講師とリモート接続してのスポーツ教室、講座の実施が可能となります。

3 市史編さん事業 10,874 千円（文化課）

地域に伝わる伝統や文化等を記録・保存し、後世へ引き継ぐとともに広く周知することで、市民の地域に対する理解を深め、過去と現在及び未来を結び付け、これからのまちづくりに役立てます。

知立が輝くための仕組みづくり

1 庁舎空調設備等改修事業

【臨時】 62,214 千円（総務課）

現在の空調環境を補完するための個別空調を増設することにより、効果的な稼働を促進し、きめ細かな空調設備の運用を可能とすることで、省エネや維持管理コストの縮減にも資するものであります。

2 行政手続オンライン化対応事業

【臨時】 28,136 千円（企画政策課）

住民の利便性向上に資する手続について、マイナポータルからのオンラインによる申請を可能にします。

☆特別会計・企業会計の主要事業

1 国民健康保険特別会計

被保険者の拠出（税）を主な財源として必要な給付を行うことで、相互扶助により生活の安定の確保を図ります。また、特定健康診査等各種保健事業により、被保険者の健康増進とともに医療費の適正化を図ります。

2 介護保険特別会計

介護を社会全体で支え合うことで、介護が必要な人に、本人やその家族の意向に沿った介護サービスが充分受けられる供給体制を推進します。まちかど教室については、参加者だけでなく講師も含め関係者の感染リスクを減らすため、オンラインで多様な参加形態の希望に対応します。

3 水道事業会計

震災等の非常時に医療活動を担う後方支援病院や応急給水拠点となる指定避難所等へ安定した給水が確保できるよう重要給水施設配水管の整備を進めます。

4 下水道事業会計

下水道の整備、維持管理、下水道事業の経営健全化を図り、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に努めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

